

DAN 総合設計 海外研修旅行



2012 Nederland

◆スケジュール表 ※都合により変更になる可能性があります

日付	時間	場所	行 動	備 考
6/5 (火) 1日目	06:22	大船駅発	成田エクスプレス(7号)	9名
	06:28	戸塚駅発		宮原所長 合流
	06:40	横浜駅発		竹内副所長 多鹿副主任 岸田主任 合流
	08:10	成田空港着	成田空港駅着	
	08:30		第1ターミナルビル 北ウィング4階 JTB専用受付 Gカウンター前 1~3番又は15~16番	長谷川顧問 合流
	08:40		アシスタント合流	
	10:40	成田発	日本出発 KL862 オランダ航空にてオランダへ	機内食
15:05	アムステル ダム着	スキーボール国際空港着 (所要時間 11 時間 25 分 日本との時差：約-7.0 時間)	機内食 入国手続き	
16:00	専用車			
16:50	ホテル ロビー集合	アシスタントと合流し専用車にてホテル 「EDEN HOTEL AMSTERDAM」へ ホテル着 (チェックインは17時頃となります。)	部屋番号確認	
18:40		徒歩で移動		
19:00 ~ 21:00		『FLO』にてウェルカムディナー	全員で夕食	
21:30		※ホテルロビーにて連絡事項確認後解散		

日付	時間	場所	行 動	備 考
6/6 (水) 2日目	各自	ホテル	各自で朝食 (6:00~10:00)	朝食 ホテル
	08:50 09:00	ロビー集合	全員でアムステルダム 湾岸地区	
			↓ 約0.5km マヘレのはね橋	徒歩
			↓ 約0.5km Waterlooplein St. 発	徒歩 地下鉄
			↓ Amsterdam Centraal St. 着	
			↓約1.2km 「アムステルダム公立図書館」	徒歩
13:00	ダム広場にて解散	↓約1.3km 「ミュージックヘボウ」	徒歩	
		↓約1.6km 「アーカム」	徒歩	
		↓約0.4km 「ネモ」	徒歩	
		↓約1.0km Mr. Visserplein St.発 9番 Centraal Station 行き ↓ Dam St.着	徒歩 トラム	
		各自自由行動	昼食は各自お 願いいたします。	
20:00		点呼のため必ず幹事まで連絡をして ください。	各自で夕食	

日付	時間	場所	行 動	備 考
6/7 (木) 3日目	各自	ホテル	各自で朝食 (6:00~10:00)	朝食 ホテル
	9:00	ロビー集合	自由行動	各自で昼食
	20:00		部屋で歓談。翌日の行動確認 参加できない方は点呼のため必ず幹事まで 連絡をしてください。	各自で夕食

日付	時間	場所	行動	備考
6/8 (金) 4日目	各自	ホテル	各自で朝食 (6:30~10:00)	朝食 ホテル
	08:40	ロビー集合	全員でユトレヒトへ視察	
	08:50		ホテル出発 ↓	徒歩
	09:16		Waterlooplein St. 発 ↓	地下鉄
	09:19		Amsterdam Centraal St. 着 ↓	
	09:53		Amsterdam Centraal St.にて乗車 ↓	フリーシートのTIC
	10:20		Utrecht Centraal St.にて下車 ↓	
	10:34		Utrecht Centraal St.前 4番 Burg Fockema Andreaelaan 行き ↓一つ前「De Hoogstraat」	バス
	10:50		Prins Hendriklaanバス停で下車(11個目) ↓	徒歩(約5分)
	11:00		「リーフェルト・シュレーダー邸」到着 見学開始 ↓	
	12:00		見学終了 ↓	
	12:14		Prins Hendriklaanバス停で乗車 ↓	バス
	12:30		Utrecht Centraal St.にて下車 ↓	徒歩
	12:45		集合場所にて一時解散 ↓	昼食は各自お願いいたします。
	17:00		各自自由行動 ↓	
	17:00		Utrecht Centraal St.に集合	
	17:25		Utrecht Centraal St.にて乗車 ↓	フリーシートのTIC
	17:52		Amsterdam Centraal St.にて下車 ↓	
	18:30		ホテル着 一時解散	
	19:45	ロビー集合	徒歩にて移動(約12分)	
	20:00 ~ 22:00		『Haesje Claes』にて夕食会	
	22:30		※ホテルロビーにて連絡事項確認後解散	

日付	時間	場所	行動	備考
6/9 (土) 5日目	各自	ホテル	各自で朝食 (6:30~10:00)	朝食 ホテル
	07:20	ロビー集合	全員でロッテルダムへ視察	
	07:30		ホテル出発	
	07:40		↓ Waterlooplein St.発	徒歩 地下鉄
	07:50		↓ Amsterdam Centraal St. 着	
	08:16		↓ Amsterdam Centraal St.にて乗車	指定席 T GH9322
	08:56		↓ Rotterdam Centraal St.にて下車	
			↓ 徒歩にて散策	
	10:00		↓ 「クンストハル」到着 見学開始	
	11:00		↓ 見学終了	
	12:00		↓ 集合場所にて一時解散	徒歩 昼食は各自お 願いたしま す。
	12:10		↓ 各自自由行動	
	16:30		↓ Rotterdam Centraal St 集合	
	17:06		↓ Rotterdam Centraal St 発	指定席 T GH9351
	17:44		↓ Amsterdam Centraal St. 着	
	18:00		↓ 翌日の行動確認後解散	各自で夕食

日付	時間	場所	行 動	備 考
6/10 (日) 6日目	各自	ホテル	各自で朝食 (6:30~10:00)	朝食 ホテル
	08:50	ロビー集合	ディナークルーズまで自由行動	各自で昼食
	19:15	ロビー集合		
	19:45	港	港着	全員で夕食
	20:00	出港	Holland Internationa ディナークルーズ	
	22:30	帰港	(20:00~22:30の約2時間30分)	
	23:00	ホテル	※ホテルロビーにて連絡事項確認後解散	

日付	時間	場所	行 動	備 考
6/11 (木) 7日目	各自	ホテル	各自で朝食 (6:30~10:00)	
	11:00		ホテルチェックアウト ※ホテルのチェックアウトは各自済ませて ください	
	11:20		アシスタントと合流	
	11:30		専用車にてスキーポール国際空港へ	空港にて昼食
	14:55		オランダ出発 KL861 オランダ航空にて日本へ	機内食 機内食
6/12 (金) 8日目	08:50		成田空港着 (所要時間 10 時間 55 分)  成田空港到着後、通関の後解散	

## ホテル概要

EDEN HOTEL AMSTERDAM (エデン ホテル アムステルダム)

住所：AMSTEL 144,AMSTERDAM,1017AE,NETHERLANDS

電話：(020)530-7878 Fax：(020)623-3267

トラム最寄駅: Rembrandtplein (レンブラント広場) 駅 (4番・9番)

メトロ最寄駅: Waterlooplein (ワートルロー広場) 駅

・アムステルダム中央駅(AMSTERDAM CENTRAAL)までは、約2kmです。

**緊急連絡先** 岸田 壮史 080-5193-0494

## 現地連絡先

アムステルダム支店 JTB NETHERLANDS B.V.

住所：JOZEF ISRAELSKADE 48C, 1072SB, AMSTERDAM, THE  
NETHERLANDS (09:00-17:30)

TEL：(020)6792963 FAX：(020)6759978 \*国番号：31  
土・日曜、祭日の緊急連絡先(連絡可能時間帯)

携帯電話：06-20369402 (09:00-17:30)

トラム最寄駅：Cornelis Troostplein 駅 (12番・25番)

※ホテル・オークラ正面、緑色のオフィスセンタービル1階

## ◆食事会

6/5 ウェルカムディナー 『FLO』 19:00～ 開宴



住所：

Amstelstraat 9, Amsterdam 1017 DA, The Netherlands

※メニューは参考です。変更になる可能性があります。

### ・前菜

-Terrine of salmon and asparagus , egg and spinach , Russian salad and tarragon mayonnaise  
(サーモンとアスパラガス、卵、ほうれん草のテリーヌ、ロシア風 タラゴンのマヨネーズソース)

### ・メインディッシュ

-Braised breast of veal with mushrooms and morel sauce  
(牛胸肉の煮込み マッシュルームとアマガサタケのソース)

### ・デザート

-Creme Brulee with Bourbon vanilla  
(クリームブリュレとバニラバーボン)

6/8 『Haesje Claes』 20:00～ 開宴



住所：

Amsterdam 1012, The Netherlands

※メニューは参考です。変更になる可能性があります。

### ・前菜

-Small Erwtten soup & Herring with onions  
(小さなエンドウ豆のスープ&オニオンニン)

### ・メインディッシュ

-Sauted Dover sole with mushrooms  
(舌平目のソテー マッシュルーム添え)

### ・デザート

-Lemon Pie  
(レモンパイ)

## 6/10 ディナークルーズ 『Holland Internationa』 20:00～ 開宴



※メニューは参考です。変更になる可能性があります。

### ・肉

- Tartlet of truffle potato salad served with Serrano ham chips  
(セラーノハムのチップ添えトリュフのポテトサラダのタルト)
- Duo of soups: Gazpacho and a fresh cucumber soup  
(ガスパッチョと新鮮なキュウリのスープ)
- Turkey steak served with a tarragon jus, glazed seasonal vegetables and potato mousseline  
(タラゴンジュースを添えたトルコステーキ、季節の野菜とジャガイモのムースを)

### ・魚

- Tartlet of truffle potato salad with salmon tartar and Canadian smoked salmon  
(サーモントルタルとカナダ産のスマークサーモンとトリュフのポテトサラダ)
- Duo of soups: Gazpacho and a fresh cucumber soup  
(ガスパッチョと新鮮なキュウリのスープ)
- Herb-crusted salmon steak served with a white wine sauce, glazed seasonal vegetables  
(白ワインソース添えハーブをまぶしたサーモンスターキ、ガラス張りの季節の野菜)

### ・野菜

- Griddled courgette sandwich served with ricotta  
(ズッキーニのサンドイッチ リコッタ添え)
- Duo of soups: Gazpacho and a fresh cucumber soup  
(ガスパッチョと新鮮なキュウリのスープ)
- Thai green curry of carrots, aubergine and bamboo shoots served with a timbale of white rice  
(茄子と筍のタイのグリーンカレー 白米のタンバル添え)

### ・デザート

- Almond-chocolate tart and marinated strawberries served with a light tarragon-infused mascarpone mousseline  
(マスカルポーネームス添えアーモンドチョコレートタルトと苺のマリネ ライトタラゴン風味)

### ・コーヒーまたは紅茶

## 研修旅行の目的

スタッフ各位

毎年、DAN総合設計として貴重な時間を割いて研修旅行を慣行している理由として、普段経験する事の出来ない文化、建築を直接体験し、その感動がDAN総合設計の共有財産となり、蓄積されスタッフ個々のレベルアップにも繋がり、仕事に反映、生かされることを第一に考えています。旅行後を書くレポートは、書くことで、自分自身が感じてきたものを確実にするだけでなく、感じたものを他の人たちに思いを伝える表現力を身に付ける場でもあります。

またこの研修期間は、大勢の人と行動を共にする期間でもあり、DAN総合設計のスタッフとして普段の生活同様、挨拶、目上の人に対する敬意、人への配慮、気づかい、行動、時間、服装等を意識しながら再認識する良い機会です。建築の設計にも当てはまるものだと思います。

長時間行動を共にする事で、会社組織としてコミュニケーションを図り、お互いの長所・短所が見えることもあり、見直しのきっかけとして考えたいものです。

この研修旅行を段取りする幹事さんは、普段の仕事の中で、段取りを行ない準備します。これはかなりの負担となります。幹事さん一人まかせでは無く、皆が気持ち良く旅行をするためには、個々が気の付いたことをサポートし幹事さんへの協力が、必要不可欠です。

毎年、旅行中での問題点を蓄積して行き、次回につなげ改善し、有意義な研修旅行が出来るように意識していきましょう。

平成20年11月17日

株式会社 DAN 総合設計

## ・アムステルダム Amsterdam

アムステルダムはその地の利を生かし、港町として発展し、貿易商人たちを筆頭にオランダの商業発展に大きく貢献してきました。別名、商業の街と言われる所以です。東インド会社が設立された17世紀に、その繁栄は頂点を迎えます。

港町として、貿易の拠点として様々な人や文化を受け入れてきた歴史から、多様な文化や外国人に対して寛容な国際都市としての役割を担っています。

視察方法：トラム（路面電車）、バス、地下鉄

トラム 1日乗車券 24時間券 7.00EUR、48時間券 11.50EUR など

### ① アムステルダム公立図書館 OBA Openbare Bibliotheek Amsterdam



竣工：2007年

開館： 毎日 午前10時～午後10時

2007年夏、アムステルダム中央駅そばに公立図書館がオープン。総面積は28,000㎡で書棚の総延長は25km。50万冊以上の蔵書、定期刊行物、CD、DVDなどが収められた、オランダ最大の公立図書館が誕生しました。

KNSM島の集合住宅などを手がけた建築家ヨ・クーネン（Jo Coenen）設計の、ゆったりとした吹き抜けと白を基調とした明るい空間が、心地よさを作り出しています。7階のレストランとテラスは、アムステルダムの街を一望出来る絶景のスポット。また、地上階にも文学カフェがあり、2,500余りの定期刊行物を読みながらコーヒーなどが楽しめます。館内にはヘラ・ヨンゲリウスなどダッチデザイナーの椅子やソファが並び開放的で明るい空間。図書館のメンバーでなくても、開架の閲覧やカフェの利用は無料です。

### ② ミュージックヘボウ Muziekgebouw



竣工：2005年

アムステルダム中央駅の裏手にオープンしたミュージックヘボウ（Muziekgebouw aan 't IJ）は、アムステルダムの21世紀の「文化の錨（アンカー）」となるべく設計された音楽ホール。ここでは、クラシックの殿堂コンセルトヘボウとは趣を異にし、コンテンポラリーな作品や、古典であっても現代風の解釈を行い、アレンジされた出し物が主力です。ジャズなどのアンサンブルも頻繁に上演されています。ガラスを多用した外観は、アイ湾に突き出した形で水面に映え、まるで水上に浮かんでいるかのよう。この絶好のロケーションで建築を手がけたのはデンマークの建築集団3xN。Star Ferryと呼ばれるグランカフェではアムステルダム港の風景を味わえます。725席のメインホールと100席の小ホールその他、ワークショップやマスタークラスのためのホワイエがあり、新しい音楽の殿堂にふさわしい活気が溢れています。

### ③ アーカム Arcam



竣工：2003年

アーカムはアムステルダム建築センターの事務所兼展示・ミーティングスペース。若手建築家レネ・ファン・ズークの設計です。近隣にはNEMO 科学センターやオランダ海洋博物館といった建物があります。一見、控えめな大きさの3階建てビルですが、水面を望むガラス張りの窓が目を引きまます。またアルミニウムで成型された外壁の形状がユニーク。まるで水滴のような大胆なカーブを描いています。再開発の東港湾地区の入り口として、またアムステルダム建築センターという機能にふさわしい建物です。

### ④ ネモ NEMO



竣工：1997年

ジュール・ベルヌの有名な本にでてくるネモ船長の名前がついたNEMOは、1997年6月オープンした科学技術に関する子供向けのインタラクティブな博物館です。

アムステルダム中央駅から東へ歩いていくと大きな緑色の一枚屋根が目にとまります。まるで水面から競り上がっているように見える新しいランドマークです。

設計を担当したのはイタリア人建築家のレンゾ・ピアノ。階段で上げられる屋上は、博物館利用者以外にも開放されていて、アムステルダム旧市街を見渡せるビューポイントとなっています。

### ⑤ アクワルティス Aquartis



竣工：2001年

リースベス・ファン・デル・ポルがアントレポドック波止場の巨大な倉庫を活用したロフト・アパートメントを設計。ベルラーへの弟子らによって設計された多くの屋根と支持壁を持つオリジナルの建物の特徴が、リノベーション後に残されました。アパートの間取りは様々ですが、ガラス面を多用し、いつでも窓を開け放って光と眺望を取り入れられるデザインは共通。上に向かって段々に細くなっていく構造で、下層まで光が溢れます。

## ⑥ バルセロナ Barcelona



竣工：1993年

住居用ビルのバルセロナはKNSM島を代表する建物。モダン建築に興味がある方にとって外せない建築物とされています。設計はベルギー人のブルーノ・アルベルト。円形の建物には325の住居が入っています。バルコニーを備えた中庭スペースはイタリアの歌劇場を思わせる優美な造り。KNSM島は1990年代に再開発が行われました。ヨー・クーネンが島全体の設計を手がけ、ビジネス棟と住宅棟がバランスよく配されています。細長い島の中央に目抜き通りがあり、インテリアショップが軒を連ねています。昔波止場だった頃の建物もいくつか残され、賃貸住居やクリエイティブな事務所の入ったスタジオとして当時の風情を伝えています。

## ⑦ INGハウス ING House



竣工：2000年

アムステルダム郊外南、空港から市内へ入る高速道路沿いに靴の形をした不思議な建築物があります。メイエルとファン・スホーテンによって設計された国際的な金融会社ING銀行のビルです。10階建ての建物が9mから12mの支持棒の上に乗っています。ガラス張りの建物の中で働く人はアムステルダム・ボス（アムステルダムの森）を望む素晴らしい景色を眺めることができます。外壁は近接する高速道路の音を遮断し、ろ過したクリーンな空気を室内に取り入れています。数々の賞（アルミニウム・アワードやナショナル・スチール・プライズ2002等）を受賞した有名な建築で、銀行にちなんでか「お金の靴」という愛称があります。オフィスビルであることから機能が最も重視されました。室内にはアトリウムやパティオ、中庭といった空間がふんだんに取り入れられています。ゾイダスと呼ばれるアムステル川とスキンケル川にはさまれたエリアは多くの企業にとって魅力的なエリアです。空港とビジネスセンターであるワールドトレードセンター駅に近く、アムステルダム市街地へも出やすい足回りのいい場所だからです。5万人の人々がこのエリアで働いています。

### ⑧ オクラホマ Oklahoma



竣工：1997年

世界各国の建築専門誌で取上げられる MVRDV 設計の集合住宅です。オクラホマには 21 の異なる間取りがあり 55 歳以上の高齢者が入居しています。100 戸の住居を作るよう要請を受けた MVRDV ですが、敷地が小さいと判断した彼らは部屋を空中に張り出すことで、スペース不足の問題を解決しました。建物から完全につきだした部屋はガラスの通路と木材によって覆われています。

また空中に突き出た大型バルコニーのガラスは様々な色で彩色されています。

### ⑨ ゴッホ美術館 Van Gogh Museum



竣工：1999年

日本でも人気の高いフィンセント・ファン・ゴッホの作品を最も多く所有する美術館です。その別館が 1999 年 6 月、マレーシアのクアラ・ルンブル空港の設計で知られる日本人建築家、黒川紀章により完成しました。

高価な素材であるチタンを建物の正面と屋根に使用した美しい半円形の別館は、シンプルでありながら端正で宇宙船のような雰囲気があります。

中に入ってみると地下に掘り下げられ、天井の高い広々とした空間が広がっています。

自然光が入る明るくスパーシーな本館（リートフェルトにより 1963 年に建造）の雰囲気と違和感がないよう工夫されています。

## ⑩ ホエール The Whale



竣工：2000年

194 戸の住宅と 1100 m<sup>2</sup>のオフィススペースをもつ「ホエール（鯨）」と名づけられた建物は、2000年に工事が完了したばかりの再開発エリア、スパーレンブルグ島のランドマーク的な建築。エリック・ファン・エヘラートが当初設計を担当しましたが途中降板。フリッツ・ファン・ドンハンが引き継ぎ完成させました。

建物の上部がゆるくへこんでいるのは、斜めに差し込む太陽光を少しでも多く取り入れるためだそうです。このユニークな形状のため、角度によって全く見え方が違うのがホエールの特徴。

## ⑪ シロダム Silodam



竣工：2002年

近年の建築物の中で最もカラフルで驚くべき建築だと言われるシロダムは全長 300mもある住宅兼オフィスビルです。オランダを代表する建築集団 MVRDV が設計を担当しました。

アイ湾の上にコンクリートの土台を作り 10 階建てのビルが建てられました。港を行き交う船が一望に見渡せます。水上に建設されているとはいえ船と衝突の心配はありません。水中に船よけの堤防が築かれているからです。住人以外でもテラスで休憩したり、併設されているレストランを利用できます。

コンテナ船をイメージした建物の外壁を覆っているのは色とりどりの木材や煉瓦など数種類の材質です。

## ・ユトレヒト Utrecht

オランダ最古の町の1つであるユトレヒト。ドム広場周辺に現在でもローマ時代の足跡を見ることが出来ます。

また歴史の香り残る旧市街には、古い道路がそのままの形で残されています。運河沿いを散策したり、小道や脇道を探検すれば、歳月を経た小さな集会所の建物や趣のある救貧院の建物に出会ったりと、様々な発見があることでしょう。ユトレヒトには、忙しい現代人の心の安らぎとなるような、古きよき時代の遺物が残っています。

美しい運河の散策といったクラシックな魅力から、流行の先端をいくショップ、気持ちの良いアウトドア・カフェ、活気溢れる劇場、周辺の緑豊かなエリアなどといった、たくさんの魅力が待っています。

視察方法：アムステルダム～ユトレヒト 約40分  
トラム（ライトレール）、バス、地下鉄

### ① シュローダー邸 Schroder House



竣工：1924年

2000年世界遺産に認定されたリートフェルトのシュローダー邸は、その名を世界に知られた20世紀の名建築です。またデ・スタイル（様式）と呼ばれた当時の芸術運動を体現したものとしても知られています。

ユトレヒト出身の建築家であり家具デザイナーであったヘリット・トーマス・リートフェルト（1888-1964）が、クライアントのトゥルス・シュローダー夫人のために1924年に設計をしました。シュローダー夫人は1984年に亡くなるまで、この邸宅に住み続けました。

シュローダー邸は、デ・スタイルの提唱する理念と方法に則り設計されました。デ・スタイルの特徴的な色である赤、青、黄色といった原色と白、灰色、黒を使っています。リートフェルトとシュローダー夫人が共作した内装やオリジナル家具も、デ・スタイルのカラー・スキームに則っています。

### ② エデュカトリウム Educatorium



竣工：1997年

レム・コールハースのうねるスラブを体現した建築物。

この建物内部ではモジュールに矛盾がみられる。たとえばキャンピングを階段やこの壁材として使っていたりするが、その大きさは各階によってことなりました。

土日以外なら自由に入れます。

## • ロッテルダム Rotterdam

ロッテルダム中心部では、わずか数キロメートルの範囲に 100 年以上に渡る建築の歴史を見ることが出来ます。

5 分も歩けば、全く異なった外観と雰囲気の新しいロッテルダムの一面に出会えるでしょう。

ロッテルダムは、多くの斬新な建物と豊かな建築の土壌があることから、建築の町として世界的に高い評価を得ています。

第二次大戦後は、革新的な建築の草分け時代で、キューブ・ハウス、フロートハンデルスヘボウ（卸売ビル）、スハウブルグブレイン（劇場広場）などの傑作建築があります。「ロッテルダムの建築（Architecture in Rotterdam）」という地図を無料で配布も行っています。

視察方法：アムステルダム～ロッテルダム 約1時間

トラム（路面電車）、バス、地下鉄

トラム 1 日乗車券 24 時間券 7.00EUR、48 時間券 11.50EUR など

### ① クンストハル Kunsthal



竣工：1992 年

この建築は平面上では4つの空間に分けられているのですが全体平面の基本形は単純なものです。その中の西側ブロック空間は斜路をそのまま活かしたオーディトリウムが作られ、下はカフェとなっています。カラフルな椅子の置かれた2階オーディトリウムは通路としてのスロープを兼ね備えた斜行空間であり、この空間自体は通常通路として使用されていました。出入口には扉が設けられていましたが、普段はこの椅子の置かれた空間自体は展示室であり、これらの椅子は展示品ということなのでしょう。そして、この空間を奥へ進むと、今度は 180° 逆方向へ別の斜路が表れてきます。平面計画上、単調な構成ではありますが、個々の空間の変化点をうまく視覚的に利用しています。自分が通った順路が否応なしに見えることになるのですが、そこには上下の視点の変化があります。レム・コールハースがフラット・スラブではない展示のための建物空間を試行したものです。

## ② エラスムス・ブリッジ Erasms Bridge



竣工：1996年

エラスムス・ブリッジのエラスムスとは、オランダ文芸復興の先駆者であるエラスムスにちなんだもので、近くにはエラスムス大学があるといえますから、エラスムスの存在がいかに大きいかわかるといえることができます。橋はニューマース川に架けられたのですが、ロッテルダム市街においてこの川は市街を南北を分割していました。完成したこの橋は、南部のコブ・ファン・ゼイト地区を中心街のある北部と直結するという、大きな役割を果たすものなのです。橋は全長 280m で一部跳ね橋があり、パイロン（主塔）の高さは 139m あります。このパイロンの形状なのですが、橋のモーメントラインと一致していないらしく、構造ではなく造形重視によって作られたものです。

## ③ オランダ建築家協会 NAI



竣工：1993年

オフィス棟と展示ホールを連結するスロープ部で、クストハル同様、単純なプランに変化をつくり出しています。オーディトリウムは座席の視線は池の水面に向かうよう正面はガラス張りになっています。

正方形プランの展示ホールの内部はコンクリート打放しです。開口は床面に合わせて取られています。

池の反射光によってとても明るい展示空間となっています。